

第4回アンケート

区政診断制度について

(1 1 年度区政モニター回答)

1 調査の概要

この報告書は、平成12年度第4回区政モニターアンケート「区政診断制度について」の平成11年度区政モニターの回答をまとめたものです。

2 調査目的

足立区では、行政サービスの改善や説明責任の遂行のため、「区政診断制度」（＝行政評価制度）の導入を予定しています。制度の構築にあたり、区政モニターの意見等を聞いて、最終案確定の基礎資料とすることを目的として調査しました。

3 調査方法

調査票・回答とも郵送

4 実施時期

平成12年12月15日～12月26日

5 対象者数、回答人数

対象者 平成11年度区政モニター50人 回答者 43人

6 回答者の性別・年代別・職業別・ブロック別の構成（年代はH12.12.1現在）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	2	2	1	0	6	4	15
女	3	6	6	8	4	1	28
合計	5	8	7	8	10	5	43

ブロック	17°ブロック	27°ブロック	37°ブロック	47°ブロック	57°ブロック	67°ブロック	77°ブロック
人数	2	2	3	3	4	5	5
ブロック	87°ブロック	97°ブロック	107°ブロック	117°ブロック	127°ブロック	137°ブロック	合計
人数	3	2	6	5	1	2	43

7 調査結果・分析の見方

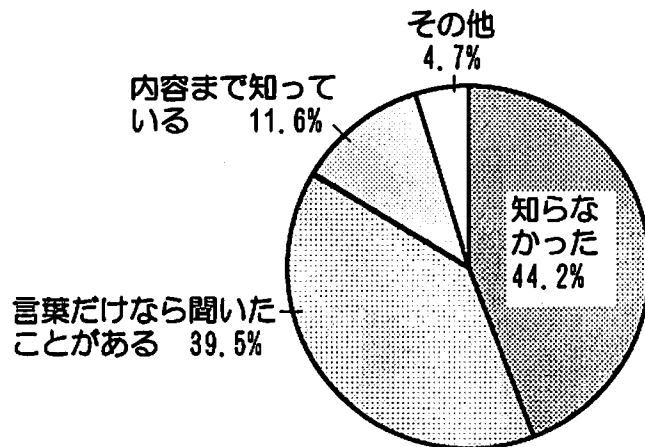
回答の比率（％）は、その設問の回答者を基礎として算出しました。従って、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100％を越えます。また、原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示したもので、比率の合計が、100％に満たないまたは上回ることがあります。回答者数が未記入の場合は、その設問の回答者数は48人です。意見は、原文の趣旨を損なわないように要約し、掲載しました。

要旨

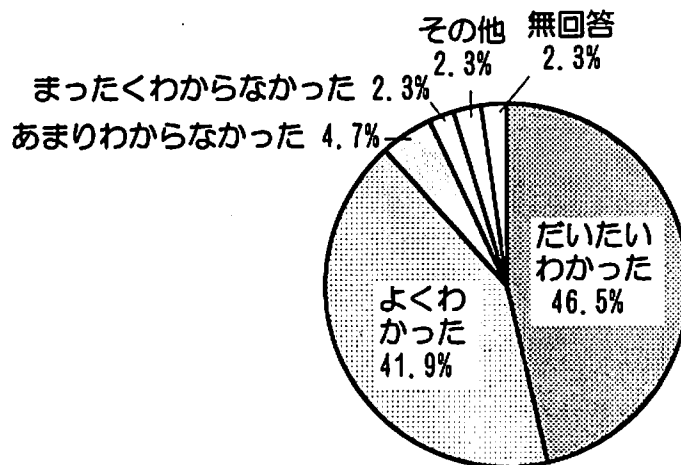
問1 区政診断制度の周知度	「知らなかった」	44.2%	(19人)
	「言葉だけなら聞いたことがある」	39.5%	(17人)
問2 区政診断制度についての理解度	「だいたいわかった」	46.5%	(20人)
	「よくわかった」	41.9%	(18人)
	「あまりわからなかった」	4.7%	(2人)
問4 診断分野の分類方法	「適切である」	60.5%	(26人)
	「追加・変更したい分野がある」	30.2%	(13人)
問7 わかりにくい診断指標の有無	「ない」	79.1%	(34人)
	「ある」	18.6%	(8人)
問9 不要な診断指標の有無	「ない」	72.1%	(31人)
	「ある」	25.6%	(11人)
問11 追加・変更した方がよい診断指標の有無	「ない」	62.8%	(27人)
	「ある」	32.6%	(14人)
問13 区政診断制度定着後の区政の変化(複数回答)	「区政がわかりやすくなる」	65.1%	(28人)
	「区民生活に真に必要な施策が実施されるようになる」	53.5%	(23人)
	「区民にわかりやすい行政改革が進む」	53.5%	(23人)
	「区民が区政にもっと自由に参加しやすくなる」	37.2%	(16人)
	「窓口などの職員の区民対応が良くなる」	20.9%	(9人)

※ 問3、問5、問6、問8、問10、問12は記述回答のため省略

問1 あなたは、行政評価制度をご存知でしたか。



問2 足立区では、「区の現状や区政を人の体になぞらえ、その健康診断を行う」という区政診断制度（＝行政評価制度）を取り入れようと考えていますが、区政診断制度について、ご理解いただけましたか。

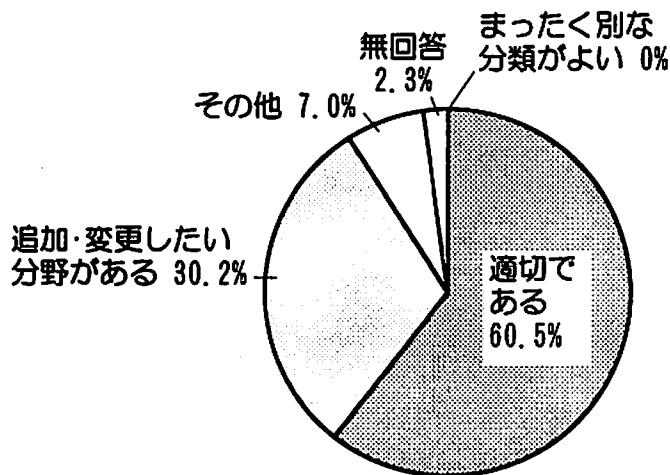


問3 問2で「あまりわからなかった」または「まったくわからなかった」を選んだ方にお聞きします。
区政診断制度について、わかりにくいところやその理由をお書きください。

「あまりわからなかった」または「まったくわからなかった」を選んだモニター 3人

- ・ この項目自体が何を目的にしているのかわからない。23区平均との比較など、基準となる数値との比較がない限り、数字の算出自体が新たな行政の無駄使いになる。
- ・ 区民のためだとは思いますが必要なのであろうか。文面だけではわからない。
- ・ 学者が考案し書き上げた内容で、私にはむずかしい。

問4 区政診断制度では、診断分野を「健康・福祉」「安全」「子育て」「環境」「産業」「便利・快適」「社会参加」「区政・区役所」の8分野に分類しています。あなたは、この分類の仕方について、どのようにお考えになりますか。



問5 問4で「追加・変更したい分野がある」を選んだ方にお聞きします。あなたが、追加・変更した方が良いと思われる項目及び代案をお書きください。

「追加・変更したい分野がある」を選んだモニター 13人中

	分 野	人 数	代 案 等
変 更	健 康 ・ 福 祉	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・ “健康＝福祉”ではなく、“健康＝医療・保険”分野。 ・ 「健康・福祉分野」と「子育て分野」を統合し、「総合福祉分野」とする。
	安 全	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「安全分野」の中に治安も入れる。
	子 育 て	3人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子育て・学校分野」に変更する。 ・ 「子育て分野」に「教育」を加えてほしい。短期間で結果が見える分野ではないだけに、教育の分野を評価するのは難しい面がある。しかし、足立区を支える人間形成に関わる部分を避けて通るのは如何なものか。 ・ 「健康・福祉分野」と「子育て分野」を統合し、「総合福祉分野」とする。
	区政・区役所	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指標38、39は別の分類にした方がよい。窓口対応の好感度等と同類にみなすのは少し乱暴である。
追 加		6人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「住宅分野」、「医療分野」、「教育分野」、「ごみ問題分野」、「財政分野」。 ・ 「住環境分野」。住宅の空き状況や他区と比べた賃貸家賃の相場。

(問5、次ページへ続く)

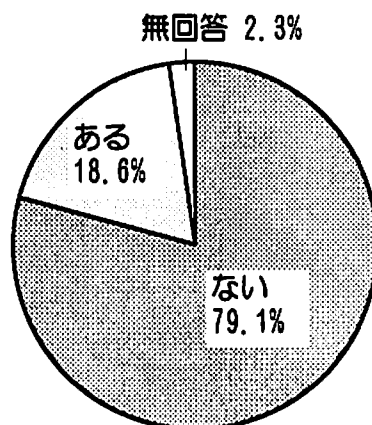
(問5, 前ページから続き)

	分野	人数	代案等
追加			<ul style="list-style-type: none"> ・「人権侵害・差別に関する分野」。「子育て分野」か「社会参加分野」に含めてもよい気がするが、別に一つ枠を設ける。また、区民が気安く相談をできるようにし、それを診断に生かせられればよい。 ・既存の施設(区役所・図書館等)の満足度、改良点。 ・「子育て分野」の指標14、15、16や「社会参加分野」の指標29などを中心にして、「教育分野」と「文化・文化財保護分野」を追加する。 ・「区政・区役所分野」の財政に関する項目は独立させ、項目を追加する。また、区議会の項目も追加を検討するべきだ。
	その他	1人	<ul style="list-style-type: none"> ・区職員の給料は公金なので、賃金、手当て、その他支給分を区民が監査する制度もほしい。

問6 問4で「まったく別な分類がよい」を選んだ方にお聞きします。
分類の仕方について、具体的にお書きください。

「まったく別な分類がよい」を選んだモニター 0人

問7 区政診断制度では、個別の診断項目として「国民健康保険対象者一人あたりの医療費支出額」など、当初39項目の指標を用いる予定です。ひとつひとつの指標について、それが何を表しているか、わかりにくいとお感じになるものがありますか。



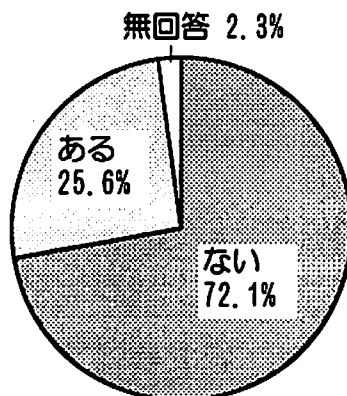
問8 問7で「ある」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、わかりにくいと感じる指標の番号と理由をお書きください。

「ある」を選んだモニター 8人中

指標番号	人数	理由
指標3	4人	・現在の介護保険の要介護度の認定基準が不明瞭だから。 ・指標4、6を示した方が数字としてはっきりするので、なくしてほしい。 ・極めて個別のものは不要だ。 ・介護されていない人すべてを元気と言いきれるのか。
指標4	1人	・夜間の不良の集まりや事件、ホームレスの溜まり場等公園の利用が適当でない。よって、公園を増やすことは危険だ。
指標5	1人	・「在宅＝すぐ引きこもり」というのはどうか。
指標6	2人	・割合は人により変わるのではないか。 ・安心の度合いをどのように測定するのか。
指標8	1人	・交通事故数でもわかるのではないか。人身以外の事故の扱いはどうするのか。
指標10	1人	・わからない。
指標18	1人	・ペットを放すなどの理由で、魚等の種類が増えている可能性もある。
指標24	1人	・地域により偏在の可能性がある。
指標26	1人	・地域により偏在の可能性がある。
その他	1人	・指標という言葉が難しい。もっとやさしい言葉はないか。 また、割合などをグラフ等で表したところで、どれだけの区民が目にし理解するだろうか。やるからにはその目的を区民にもっと強く、広くアピールすることが大切だ。

問9 あなたは、39項目の診断指標のなかで、区の診断項目としてふさわしくない、もしくは不要とお考えになるものがありますか。



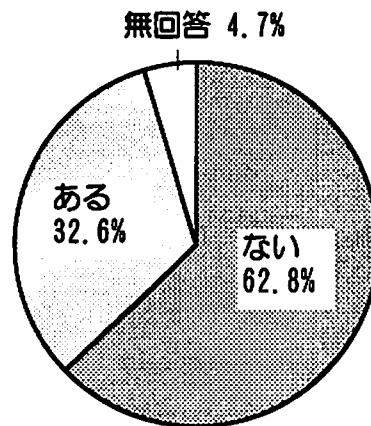
問10 問9で「ある」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、不要とお考えになる指標の番号と理由をお書きください。

「ある」を選んだモニター 11人中

指標番号	人数	理由
指標2	1人	・生活習慣病とは、具体的な例として理解できない。
指標3	2人	・極めて個別のものは不要だ。
指標7	1人	・消防庁と警視庁が統計をつくれればよい。
指標22	1人	・製造業だけで景気の判断はできない。
指標23	2人	・意味がわからない。この指標が必要となるのは何のためかはっきり書いてほしい。 ・3年に1度では、その間に産業構造が変化しているため意味がない。
指標25	1人	・一部のアンケートに頼る割合を材料とするより、どれ位の人が利用しているか、どの位の転出があるかの実際の数字がよい。
指標28	2人	・個々人のメンタリティの問題で統計処理にはふさわしくない。 ・一部のアンケートに頼る割合を材料とするより、どれ位の人が利用しているか、どの位の転出があるかの実際の数字がよい。
指標29	1人	・一部のアンケートに頼る割合を材料とするより、どれ位の人が利用しているか、どの位の転出があるかの実際の数字がよい。
指標30	2人	・審議会、委員会等の委員はその能力によって選ばれるべきで、女性委員の割合など必要ない。 ・わざわざ女性委員の割合を示す必要はない。
指標31	1人	・一部のアンケートに頼る割合を材料とするより、どれ位の人が利用しているか、どの位の転出があるかの実際の数字がよい。
指標32	1人	・一部のアンケートに頼る割合を材料とするより、どれ位の人が利用しているか、どの位の転出があるかの実際の数字がよい。
指標34	1人	
その他	2人	・全般的にわかりにくい項目だ。 ・指標にポジティブな表記とネガティブな表記があるので、統一する必要がある。

問11 あなたは、39項目の区政診断指標のなかで、追加・変更した方が良いと思われる項目がありますか。



問12 問11で「ある」を選んだ方にお聞きします。

あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

「ある」を選んだモニター 14人中

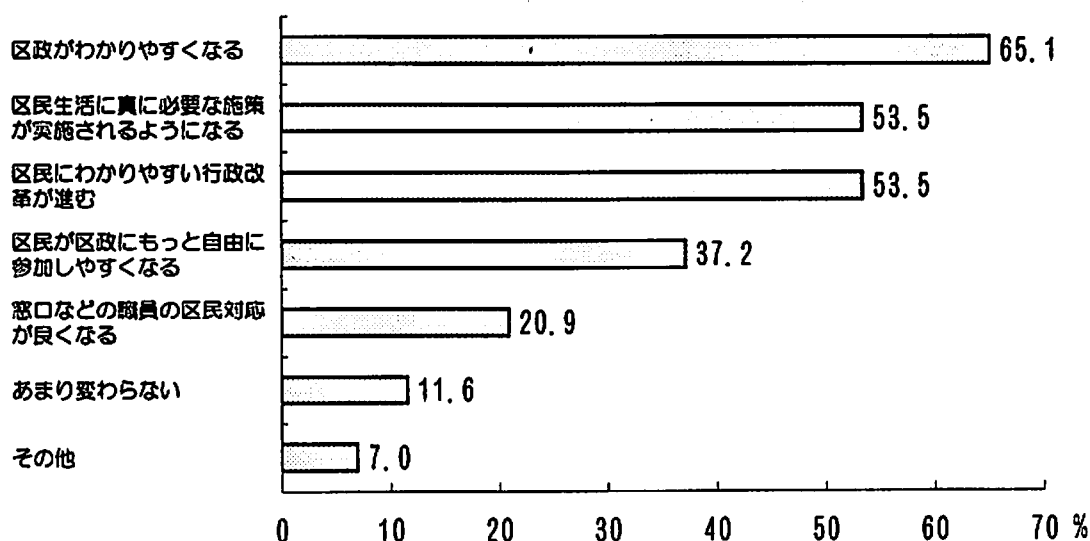
	指標番号	人数	代 案 等
変 更	指標1	1人	・国保加入者のみが区民ではない。老人医療費を当て込んだ診療のチェックなど、区民がきちんとできる情報を出すべきだ。
	指標2	1人	・生活習慣病は幅が広い。区政がどう関われるのか疑問だ。
	指標8	1人	・火災と交通事故は違う内容にした方がよい。例えば、「危ない交差点や危険な道路が身近にあると思う人の割合」など。
	指標14	1人	・区では、自由に学校を選択できる制度を実施するということが、学区域外の学校へ通う子どもの数を測定し、指標を出してほしい。
	指標15	1人	・「義務教育での授業がわかると答えた児童・生徒の割合」、「塾・家庭教師など補習を目的とした学校以外の授業を受けている割合」に変更する。
	指標21	1人	・回収だけでなく経費を入れた方が環境問題を考える参考になる。リサイクルよりリユースを。
	分 野		代 案 等
追 加	健康・福祉		<ul style="list-style-type: none"> ・「医療に関する（大型病院）充実度」。 ・「一人暮らしの高齢者の割合」。いかに社会がサポートし、充実した人間らしい生活を保障できるか。 ・「生活保護者の診断指標」。例えば、自分の家に住んでいながら保護を受けている人。

(問12, 次ページへ続く)

(問12, 前ページから続き)

	分野	代案等
追加	安全	・「区内の種類別・地域別犯罪件数」。安心できる地域社会かどうかの目安とする。
	子育て	・「安心して子育てできる母親の割合」、「子育て支援に満足を感じてる母親の割合」。
	産業	・「区民が区内での消費(買い物)に満足しているか」、「作り手側・売り手側が区内で営みやすいと感じているか」を測定する指標。
	区政・区役所	・「公共投資額の他区との比較」、「区庁舎やギャラクシティなどの他区との比較」、「区長、区職員の給与」。 ・「区の公共事業における民間業者に対する競争入札制度の割合」、「区議会議員に関係する会社が区の事業を請け負う割合」。 ・「公園を含めた区関連施設の満足度」、「公社等の活動評価」。
	その他	・「自分の意見が区政に反映されていると感じる割合」。 ・どれも必要な項目であるが、優先順位を表示したほうが良い。 ・「都政・国政とのかかわりに満足している区民の割合」。 ・「公共施設におけるバリアフリー化の達成度」。 ・「今の住宅・住宅費に満足している割合」。 ・相場、土地の価格など。

問13 あなたは、区政診断制度が本格的に定着してきた場合、区政はどのように変わるとお考えになりますか。(いくつでも)



問14 足立区の区政診断制度について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・ 文化財保護に対する取り組みの評価、祭りなどの実施状況、伝統工芸に対する指標、名所旧跡を訪れた人数等の診断をしてもらいたい。「教育分野」は必要である。教育は、生涯教育の立場からも考えることによって、全区民にとって利益を共有するものになりうる。(20代 男性)
- ・ ①項目はもう少し増やした方がよい。特に足立区はオウム真理教、少年犯罪、暴走族等に危険を感じている人も多いと思うので、区としてどのような対策をとるべきか考える指標を。②少年の健全育成のため、親のサポート項目を増やすべきだ。③永住したいかどうかは住宅政策による部分も大きい。④この制度のためにいくらの予算を見込んでいるのか区民に明らかにしてほしい。(20代 女性)
- ・ 初めて知り、とても良いものだと思った。子どもがいるので「子育て分野」があることを嬉しく思う。評判の良くない足立区だが、これによって、住んでいる我々から足立区を好きになり、他からも好まれる区になってほしい。そのために私たちもできるだけ協力する。(20代 女性)
- ・ 区政診断制度の定着は良質な可能性を秘めている。一方、問われるのは「区民のモラルや資質」だ。「公共・公平」の推進役となるべき区政の役割を考えると、診断されることがベストかどうか。診断には、中立の立場であるセクションを設立すべきである。(30代 男性)
- ・ とても良い制度だと思う。とにかく始めて、臨機応変に制度を良くしていくことだと思うので、がんばって。(30代 女性)
- ・ 行政評価制度は「コミュニケーションのための道具」となっているが、本当に必要なのか。足立区の個人情報的な見方になるのではないか。(30代 女性)
- ・ 収入による負担や助成金等がある場合、特にサラリーマンの場合には、どうしても不公平感が伴う。「暮らしやすい指標」において、そういった部分の反映ができるとよい。(30代 女性)
- ・ 難しいアンケートだったが勉強になった。区のことを知るのはとても楽しい。気軽に区役所に行けるイメージづくりを考えてほしい。区政診断制度を広報するなら、インターネット・回覧板・住区センター便り等だけでなく別の方法でもアピールし、区民からの意見にも広く耳を傾けてほしい。昨年、区政モニターをつとめて痛感したことだが、高齢の人ほど付き合いも広く、何かしたいと思っているがきっかけがつかめない人が多い。そういう人を募って仕事を任せれば、口コミでも広がって区民とのやりとりが活発になる。「あなどれない足立」を他の区にも見せつけたい。(30代 女性)

- 区のことわかるようになるので、とても良いことだ。自分の思いが直接区に届くようになるのだから、区政に興味を持つ人が増えると思う。それが反映されて区が良くなっていけば、より一層区民と区が近づける。実施の際は、自治会や区民センターで告知してほしい。「～と感じる区民の割合」という指標は、区民全体にアンケートをとるのか。実際の金額や数から指標を出すものと、区民が思っている割合から出すもののバランスが気になる。

(30代 女性)
- 「区政診断制度」は初めて聞く言葉だが、資料を読み感心した。「第四次基本計画」は抽象的で具体的な施策が見えなかった。このような制度ができれば、具体的な数値のもと区民の希望が明らかになり、区政に積極的に提言することが可能になって区民の意識も向上する。

(30代 女性)
- 誰をもって診断してもらうのか。“どこと比較し何をどう改善するのか”の視点が必要ならば、新たな無駄使いになる。危機的な区の財政なら、区庁舎の半分を民間に貸し出したり、区立小中学校の空き教室を有効利用して区の収入を計り、ハコモノ行政を止め、環境問題に目を向ける時期に来ている。

(40代 女性)
- 区民と区がお互い一方通行にならないように、情報・意見を同時に発せられる場・機会を、区民が参加しやすい形で持てたらよい。区財政の厳しさはよく理解している。「区民一人あたりの所得額」という項目もあるので、職員の賃金もふまえた節度ある財政見直しも、区民にわかりやすく検討してほしい。

(40代 女性)
- (問題点) ①「満足している」や「感じる」など、個々人の基準が一定でないものを数値化し、判断することの難しさをどう克服していけるのか。②区としての目標値を明らかにし、現実との格差を縮めるため、具体的に速やかに実行するまでを明確にしてほしい。

(40代 女性)
- 画期的な制度だと思う。区民と区政との風通しが良くなり、良いまちづくりと幸福で生き甲斐のある生活のために、多くの示唆を示してくれるものと期待している。

(40代 女性)
- この診断制度をきっかけに、諦めて沈黙していた人達が目を向け始め、その率直な声が生かされるようになれば本物だ。また、診断結果を他区の状況と比較して、客観的に見つめ直すことができればよい。

(40代 女性)
- もっと多くの人々に意見や要望を聞いて、より良い区政を実行してほしい。

(40代 女性)

- ・ 良いアイデアだ。是非実行されることを希望する。しかし、区のホームページで区の財政、人口の流動、空気や水の汚染度等について、どこがどのようにチェックしているのか常にわかるようにしておけば、診断は一人ひとりのできるし意見も言える。

(50代 女性)
- ・ 区が行政評価方式を取り入れ、区民生活向上に貢献して行こうという施策には大いに期待している。しかし、行政評価制度はまだ一部の区民にしか認識されていない。このような中で、目標・評価の基準をどこに置くかが重要だ。単に行政の目標としてではなく、区民と行政の役割を踏まえ、それぞれの立場を明確にする中で共有する目標を定め、評価することが必要だ。内部評価に止まることなく、外部評価(委員会)をつくり、相互進行する形でなければ「主観を交えず」評価できるのか疑問である。声を上げない部分にどうスポットを当てていくか、区民の意識改革も含め区民の意見をどう把握していくかが最大のポイントだ。区職員がそれぞれの分野でそのことの必要性や効果等を認識し、区民と行政のパートナーシップの重要性を把握するよう希望している。

(50代 女性)
- ・ これからの区政に期待している。同時に私たちも区政との関わり合いを大切にしていきたい。

(50代 女性)
- ・ 区民が提示したことを素早く解決していくことで区民の信頼を得られる。「口だけで何も変わらないじゃないか」と区民に思わせないでほしい。

(50代 女性)
- ・ 資料を読んでいくにつれ、周囲が明るくなるような感じと自分の一生を見据える目が漠然とできてきたような感じを受けた。区民の自覚を促す良い施策だ。

(50代 女性)
- ・ 足立区で行っていることを文書や資料でもっと知らせてほしい。行事等、区民はあまり知らないと思う。

(60代 男性)
- ・ 区政診断制度は、区民に開かれた区政をつくり出すものとして良いことだ。ただ、一部の特定の人達の意見で制度が行われることだけは避けてほしい。39もの指標を一遍に行うのではなく、慎重につくりあげてほしい。

(60代 男性)
- ・ 区政診断制度は、区民の意識向上や開かれた区政という面で大変良い。住民はややもすると地域・住民エゴに流され、行き過ぎた権利意識が先行し、受忍限度や公共性を忘れがちだ。自治会や団体が一部の片寄った人々の一般受けする言動に煽動され、付和雷同し、住民パワーと勘違いして良識ある人々は当惑し、沈黙する傾向がまま見られる。行政の公正な判断と行き過ぎたエゴに対する調整を切望する。

(60代 男性)
- ・ 各分野を他区との比較指数で表示することにより、足立区の指標の高低を表現してはどうか。

(60代 男性)

- ・ 区政への新しい試みであり、今後大いに期待できる。ただ、満足度などは個人のメンタリティによる部分が多いので、あまり数量化にこだわらないこと。また、あまり小さいことにこだわらず、区政ひいては区民の生活を巨視的に把握してほしい。
(60代 男性)
- ・ 生活習慣病の予防に力を入れる。
(60代 女性)
- ・ 住区センターや公園等の施設は、足立区は多いと感じている。福祉と環境分野に比重があるとよい。審議会等で女性委員が活躍しているが、一人でいくつもの役割を受け持っているように思う。広い分野から選出する必要がある。広報やケーブルテレビでの情報が豊富で楽しみだ。
(60代 女性)
- ・ 何事も新しいことに挑戦するのは大変だと思うが、頑張してほしい。
(60代 女性)
- ・ 今回のアンケートの照会を感謝します。今後も、区政の向上発展のため応援する。より良い区政の発展を祈る。
(70代 男性)
- ・ まず実施し、修正すべきことがあればその都度調整し、可能な限り正しく現状を把握することが必要だ。イギリス式に、行政は歩きながら考えることが良いと思う。21世紀は、ややもすれば実状から大きく乖離しがちなシステムを、大胆に改革する方向と考える。
(70代 男性)
- ・ 区民が関心を持つ診断分野について、より多くの意見を集約できるよう区民事務所をはじめとする区施設に投書箱を設置したらどうか。
(70代 男性)

区政診断指標案一覧

I 健康・福祉分野

- 1 国民健康保険対象者一人あたりの医療費支出額
- 2 全死亡者に占める、生活習慣病によって死亡した区民の割合
- 3 元気な高齢者の割合
- 4 特別養護老人ホームへの入所を待っている高齢者数
- 5 養護学校卒業生のうち、日中在宅している人の割合
- 6 公的な介護に安心を感じる区民の割合

II 安全分野

- 7 火災による年間死傷者数
- 8 交通事故による年間死亡・重傷者数
- 9 大地震の際の備蓄食品の目標(区民一人あたり3日分)達成率
- 10 大地震の際の備えをしている区民の割合
- 11 震災や事故に対してまちが安全だと感じる区民の割合

III 子育て分野

- 12 区内出生率
- 13 保育サービスを希望しながら、受けられていない児童数
- 14 区立学校を信頼できると感じる区民の割合
- 15 学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合
- 16 少年補導件数

IV 環境分野

- 17 ダイオキシン類の汚染に係る環境基準達成度
- 18 区内主要河川における魚種出現数
- 19 公害苦情件数
- 20 区内における年間のごみ排出量
- 21 区内における年間の資源回収量

V 産業分野

- 22 製造業従事者一人あたりの年間製造品出荷額
- 23 卸売業・小売業従事者一人あたりの年間販売額(3年ごと)

VI 便利・快適分野

- 24 交通や移動に不便を感じる区民の割合
- 25 区内に公園が不足していると感じる区民の割合
- 26 区内に運動をするための施設・環境が不足していると感じる区民の割合

VII 社会参加分野

- 27 障害者の法定雇用率の達成度
- 28 自分が社会参加できていると感じる区民の割合
- 29 生涯学習の機会が身近にあると感じる区民の割合
- 30 区の公的審議会・委員会における女性委員の割合

VIII 区政・区役所分野

- 31 足立区が暮らしやすいと感じる区民の割合
- 32 区内に定住意向をもつ区民の割合
- 33 区民に占める15～64歳の人口の割合
- 34 区民一人あたりの所得額
- 35 区職員の窓口対応を好ましいと感じる区民の割合
- 36 区から提供される区政情報に満足している区民の割合
- 37 区政に満足している区民の割合
- 38 区税等の公金の収納率
- 39 区の経常収支比率

「区政診断制度について」のアンケート

氏名 _____

足立区では、行政サービスの改善や説明責任の遂行のため、別添「区政診断制度について」でご説明しました「区政診断制度（＝行政評価制度）」の導入を予定しており、その制度づくりを進めています。

このようなことから、区政診断制度についてみなさんのご意見をお聞きし、今後の区政診断制度づくりを検討する上での参考にさせていただきたいと思います。

つきましては、アンケートにご回答いただける方は、下記の「ア. 回答します」に丸をされてから問1以下の設問にお答えください。また、ご回答いただけない方も「イ. 回答しません」に丸をされてからアンケート用紙をご返送ください。お手数をお掛け致しますが、よろしくご協力をお願い申し上げます。

ア. 回答します

イ. 回答しません

なお、ご回答いただける方は、別添資料「区政診断制度について」をお読みいただいた上で、お答えください。

※設問に、特にことわりがない限り1つを選んでください。

問1 あなたは、行政評価制度をご存知でしたか。

- (1) 内容まで知っている
- (2) 言葉だけなら聞いたことがある
- (3) 知らなかった
- (4) その他（具体的に _____）

問2 足立区では、「区の現状や区政を人の体になぞらえ、その健康診断を行う」という区政診断制度（＝行政評価制度）を取り入れようと考えていますが、区政診断制度について、ご理解いただけましたか。

【資料1～4ページの「2 区政診断の考え方（1）～（3）」をご覧ください。】

- (1) よくわかった → 問4
- (2) だいたいわかった → 問4

17～18ページ「区政診断指標案一覧(再掲)」をご覧ください。】

- (1) ない → 問9
- (2) ある → 問8

問8 問7で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、わかりにくいと感じる指標の番号と理由をお書きください。

()

問9 あなたは、39項目の診断指標のなかで、区の診断項目としてふさわしくない、もしくは不要とお考えになるものがありますか。

【資料3～4ページ「3 区政診断指標」、5～13ページ「区政診断指標案解説」、17～18ページ「区政診断指標案一覧(再掲)」をご覧ください。】

- (1) ない → 問11
- (2) ある → 問10

問10 問9で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、不要とお考えになる指標の番号と理由をお書きください。

()

問11 あなたは、39項目の区政診断指標のなかで、追加・変更した方が良いと思われる項目がありますか。

- (1) ない → 問13
- (2) ある → 問12

問12 問11で(2)を選んだ方にお聞きします。

あなたが、追加・変更した方がよいと思われる項目及び代案をお書きください。

()

問13 あなたは、区政診断制度が本格的に定着してきた場合、区政はどのように変わるとお考えになりますか。(いくつでも)

- (1) 区政がわかりやすくなる
- (2) 区民が区政にもっと自由に参加しやすくなる
- (3) 区民生活に真に必要な施策が実施されるようになる
- (4) 区民にわかりやすい行政改革が進む
- (5) 窓口などの職員の区民対応が良くなる
- (6) あまり変わらない
- (7) その他（具体的に)

問 14 足立区の区政診断制度について、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

ありがとうございました。